

島根県議会 宮隅 啓 議長 様

貴議会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

私は慶尚南道馬山（マサン）市議会議長河文植（ハ・ムンシク）と申します。

今年は日韓修交40周年を記念する「日韓友情の年」です。真の友人として、お互い協力して世界化・国際課時代に共同対応すべきパートナーシップが必要な今、貴国の繰り返される歴史歪曲や独島領有権主張は、韓国人を傷つけ、人類の普遍的な価値に逆らうだけでなく、両国間に外交摩擦はもちろん、北東アジアの平和に悪影響を与えかねないと存じます。

貴県が大韓民国の領土である独島に対し、継続的に領有権を主張し、歴史を歪曲していることを非常に残念に思い、馬山市議会も歴史的・地理的・文化的に大韓民国の領土である対馬への領有権を主張し、お互い対立していることは、両国どちらにも役に立たない不幸な出来事であります。

日本は過去の歴史に対し、深く反省し、自国民に本当の歴史教育を行うべきであり、独島への領有権主張を潔く諦め、北東アジアの指導者的な国として生まれ変わらなければなりません。

地方自治のグローバル時代を迎え、馬山市議会は島根県議会と易地思之の立場でお互い腹を割って話し合いたいと存じます。当市議会が貴県の県議会を訪問するか、貴県の県議会が当市議会を訪問するか、日時や場所を教えていただければ、いつでも応じる所存です。

両国間の未来に向け、非常に意義深い出会いになると存じます。

韓国には「隣人の間では、牛1匹で争わない」ということわざがあります。日韓修交40周年を迎え、まじめな話し合いを通じ、問題が解決できることを期待しながら、ご返事をお待ちいたします。
ありがとうございます。

2005年 5月 13日

馬山市 議会議長 河 文植